

夜間中学(中学校夜間学級)設置に関する 基本的な考え方について

令和4年(2022年)3月11日
義務教育課

1 経緯について

- ・H27～ 国の事業を活用し、検討委員会の開催や先進地視察等を実施【県】
- ・H28.12 いわゆる「教育機会確保法」成立【国】

(就学の機会の提供等)

第十四条 地方公共団体は、学齢期を経過した者であって学校における就学の機会が提供されなかったもののうちにその機会の提供を希望する者が多く存在することを踏まえ、夜間その他特別な時間において授業を行う学校における就学の機会の提供その他の必要な措置を講ずるものとする。

- ・H29.7～8 夜間中学についてのアンケート調査を実施【県】
 - ・県民に対する意識調査



- ・H30.6 第3期教育振興基本計画(閣議決定)【国】

○夜間中学の設置・充実

教育機会確保法に基づき、全ての都道府県に少なくとも一つの夜間中学が設置されるよう促進するとともに、夜間中学の教育活動の充実や受け入れる生徒の拡大を図るなど、教育機会の確保等に関する施策を総合的に推進する。

- ・R1.11 子どもの貧困対策に関する大綱(閣議決定)【国】

夜間中学は、・・・、全ての都道府県に少なくとも一つは夜間中学が設置されるよう、また、人口規模や都市機能に鑑み、全ての指定都市において夜間中学が設置されるよう促進するとともに、・・・

- ・R3.1 衆議院予算委員会 菅総理大臣答弁【国】

「今後5年間で全ての都道府県・指定都市に夜間中学が少なくとも一つ設置されることを目指す。」(要約)

- ・R3.11 熊本市と合同で夜間中学についてのニーズ調査を実施【県・熊本市】

ニーズ調査結果概要

○ 回答数139人のうち、

- ・「家の近くに夜間中学があったら、勉強したいですか」の問いに対し、「勉強したい」と回答したのは108人(約80%)
- ・年齢は各年代に渡っている
- ・国籍で最も多かったのは日本(約80%)、次いでフィリピン(約5%)、ベトナム(約4%)
- ・「勉強したい」人の居住地で最も多かったのは熊本市(約40%)
(県央:約55%、県北:約26%、県南:約19%)



(裏面へ)

2 設置について

(1) 設置主体

設置主体は県とする

- ・ 蒲島県政の「誰一人取り残さない」という方針を踏まえ、ニーズ調査の結果において県内に広く希望される方がいることから、設置主体は県とする。

(2) 設置場所

県立湧心館高等学校内を有力候補とする

- ・ ニーズ調査の結果において、希望される方が熊本市とその周辺に最も多く居住されていることから、通学の利便性に優れていることや定時制のノウハウを有していること、さらには県有財産の有効利用が可能であること等を総合的に判断し、熊本市所在の湧心館高等学校内を有力候補とする。

(3) 開校時期

令和6年(2024年)4月の開校を目指す

- ・ 他県の事例等を踏まえ、少なくとも2年程度の準備期間が必要であることから、令和6年4月の開校を目指す。

(4) 熊本市との連携・役割分担等

設置・運営については、熊本市と連携・役割分担を行う

- ・ 所在地となる熊本市との連携は欠かせないことから、設置・運営については、熊本市と十分連携することとし、具体的な役割分担等については、今後、協議を進めていくこととする。

3 今後の主なスケジュールについて

令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none">○基本構想策定等<ul style="list-style-type: none">・ 基本方針：設置主体、設置場所、開校時期等・ 施設利用計画の策定・ 教育課程検討○施設整備準備○シンポジウム開催(周知・広報活動) 等	<ul style="list-style-type: none">○施設整備○教育課程作成○校名・校章・校歌の制定○生徒募集 等

夜間中学について

夜間中学とは

様々な理由により、義務教育を修了できなかった人（外国籍も含む）や不登校等のためにほとんど学校に通えなかった人などが夜間に学ぶ中学校のこと。

【夜間中学についてのイメージ】

入学ができる人は、こんな人です！

以下のどれかにあてはまる人です。

- 様々な理由により中学校を卒業していない人
- 中学校を卒業はしたけれど、不登校や家庭の事情等であまり学校に行けなかった人
- 勉強をしたい外国籍の人

「夜間中学」とは、こんなところですよ！

- ◎夜間中学は、夕方から夜にかけて勉強する中学校のことです。
- 授業料や教科書代は、無償です。
- 週5日間の授業があります。
- 教員免許を持っている中学校の先生が教えます。
- 全ての課程を修了すれば中学校卒業となります。

夜間中学での生活の一例

- 17:00 登校
- 17:25 ホームルーム
- 17:30 1時間目 国語
- 18:10 給食
- 18:40 2時間目 英語
- 19:25 3時間目 家庭科
- 20:10 4時間目 数学
- 20:50 ホームルーム
- 21:00 下校



その他（他県の例）

- 学級編制：各学年20人程度
- 卒業：原則3年
- 交通手段：自家用車、バイク、公共共通機関
- 学校行事：体育祭、文化祭、修学旅行等

【夜間中学の設置・検討状況】

緑色・水色：設置済（R3.4月時点）

12都府県 36校

【水色：R3設置】

高知県、徳島県

【赤色：開校予定】

R4：札幌市、相模原市、三豊市、福岡市

R5：千葉市、静岡県、姫路市

R6：福島市、鳥取県

【黄色：検討中】

仙台市、長崎県、大牟田市、宮崎市



